



日本福祉大学

障害学生支援センター

～ともに学びあい・育ちあう支援～

交流会(2012年7月5日)

サイレント---ク!!!

みんなおなじ 筆談で話し理解深める

昨年「ワールドカフェ」を応用した交流会を行い、今年13名の学生が参加してくれました。トーク中のコミュニケーション手段は筆談のみ。聴



←交流会の様子

ともに学ぶ～支援活動～

○情報保障活動○

ノート・OHC・ポイント・PCテイク、字幕づけ、データ化、手話通訳とあります。昨年度の実績は、前期：ノート69名 OHC54名 PC30名 後期：ノート63名 OHC45名 PC21名の学生が活動をしてくれました。

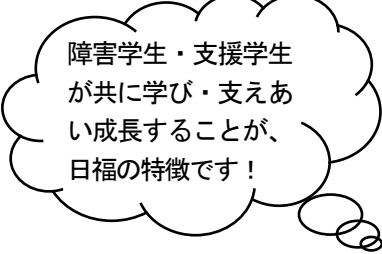
○1部 聴覚障害者問題研究会 加絵手○

加絵手(かえで)は主に手話でコミュニケーションをとっています。このサークルは、手話を覚えることだけでなく、聴覚障害に関わる問題について調べ手話で発表するという研究を行っています。

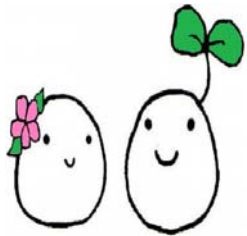
今年度の目標は「歩み寄り」です。障がいのあるなしに関わらず1人1人がお互いの気持ちや思いを受け入れ分かち合いながら、ともに成長していけたらと考えています。



→加絵手の活動写真



障害学生・支援学生が共に学び・支えあい成長することが、日福の特徴です!



○字幕をつける会 くまじ○

逆から読んでも分かるように、くまじはビデオ教材に字幕をつけるサークルです。教員からの依頼は全て障害学生支援センターを通して受け、年間50本程に字幕をつけています。質にこだわり、書体や文字の大きさを変えるなど、見やすい工夫に心がけています。また、ボランティアだけにこだわらず1サークルとして楽しく活動しているのが特徴です。

○パソコンテイクサークル PCT(パクト)○

講義でのテイクだけでなく、週1回の定例会と随時練習会を行っています。定例会ではテイカーの確認や意見交換を行っています。練習会ではタイピング練習、機材の準備・片付けの練習などを行うことで日々技術向上を目指しています。

今後は、より聴覚障害学生の意見を取り入れたものにするため交流会やアンケートなどの活動も企画しています。

学長を囲む会(2012年10月11日)

年に1度行われる、学生が学長と直接会って意見交換できる場です。今年は、テーマ「障害学生と共に築くキャンパスづくり」、障害学生自身が支援に貢献できたことについて考えました。今年、21名の学生10名の教職員が参加してくれました。



←学長を囲む会